

令和7年7月25日

西脇市長 片山象三様

西脇市まちづくり推進審議会
会長 平田 富士男

西脇市地区まちづくり実践補助事業の審査結果について

令和7年7月15日に開催した当審議会のまちづくり活動審査部会において審査したみだしのことについて、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市まちづくり実践補助金交付規程第7条第3項に基づき本審議会の意見として提出します。

記

団体名	事業名	事業費 (円)	補助金額 (円)	補助率 (%)
西脇地区コミュニティ活動推進協議会	総務部会	826,300	113,150	50
	文化部会	597,600	182,300	25・50
	体育部会	689,200	236,100	25・50
	環境保全部会	166,200	97,900	50・100
	事業運営委員会	105,000	42,500	50
	事務局	185,700	32,450	50
小計		2,570,000	704,400	
西脇区まちづくり委員会	生活環境部会	992,000	745,500	50・100
	地区整備部会	499,000	324,500	50・100
	事務局	494,020	169,580	25・50
	川下神社夏祭	235,000	117,500	50
小計		2,220,020	1,357,080	

団体名	事業名	事業費 (円)	補助金額 (円)	補助率 (%)
よいとこちがうか 日野の里推進委員 会	農業体験交流	35,000	30,000	50・100
	日野っ子見守り隊	10,000	5,000	50
	納涼祭	300,000	80,000	50
	ふれあいフェスティバル	300,000	53,000	50
	地蔵一本桜保全事業	129,000	32,000	50
	安心安全のまちづくり	5,000	2,500	50
	青少年健全育成講演会	30,000	15,000	50
	腰痛予防体操教室	6,000	2,500	50
	美化作業	30,000	15,000	50
	遥拝登山	49,000	5,000	50
	運営費	50,000	25,000	50
小計		944,000	265,000	
重春まちづくり協 議会	景観づくり	23,200	23,200	100
	矢筈山の整備	328,900	309,100	50・100
	事務費	20,000	10,000	50
小計		372,100	342,300	

団体名	事業名	事業費 (円)	補助金額 (円)	補助率 (%)
野村地区まちづくり推進協議会	まちづくり推進	1,115,000	629,000	25・ 50・100
	運動会	720,000	50,000	50
	文化祭	151,000	35,500	50
	秋祭り	950,000	80,000	50
	サークル活動	60,000	17,500	25・50
	長寿いきいき費	230,000	115,000	50
	広報費	625,000	312,500	50
	花いっぱい	100,000	100,000	100
	イベント	407,000	103,500	50
小計		4,358,000	1,443,000	
合計		10,464,120	4,111,780	

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙補助充当表のとおりとする。

令和7年度西脇市地区まちづくり実践補助事業審査に係る審査部会意見一覧

団体名	意見
西脇地区コミュニティ活動推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 西脇区まちづくり委員会との統合について、取組を進めていただきたい。
西脇区まちづくり委員会	<ul style="list-style-type: none"> 西脇地区コミュニティ活動推進協議会との統合について、取組を進めていただきたい。
よいとこちがうか日野の里推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 参画と協働によるまちづくりの更なる推進を目指し、地域自治協議会の設立に向けて検討いただきたい。
重春まちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な組織運営に向け、活動に参画される方を増やしていくとともに、後継者の育成など組織体制の強化を検討いただきたい。
野村地区まちづくり推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 参画と協働によるまちづくりの更なる推進を目指し、地域自治協議会の設立に向けて取り組んでいただきたい。

令和7年度 西脇市地区まちづくり実践補助事業 企画概要一覧表

団体・事業名・事業期間・事業費	事業目的	活動内容	事業効果・今後の展開	特記事項
<p>【団体名】 西脇地区コミュニティ活動推進協議会</p> <p>【事業名】 西脇地区コミュニティ活動推進事業</p> <p>【実施期間】 R7.4.1～R8.3.31</p> <p>【事業費】 2,570,000円</p> <p>【交付要望額】 704,400円</p>	<p>区民によるコミュニティ活動を推進し、新しい地域的な連帯感に支えられ、近隣社会をつくるために、コミュニティ活動を展開する。</p>	<p>①総務部会 ・コミセンだよりの発行(年3回) ・コミセンかわら版の発行(年1回) ・コミセンバスツアー(11月)</p> <p>②文化部会 ・コミセンまつり(10月) ・クリスマスリース教室、ケーキ教室、料理教室(1回)</p> <p>③体育部会 ・グラウンドゴルフ大会(11月) ・区民大運動会 ・うきうきのびのび健康体操</p> <p>④環境保全部会 ・イルミネーション電飾(11月) ・花のあるまちづくり ・とんど焼き(1月)</p> <p>⑤事業運営委員会 ・精霊流し(8月)</p>	<p>【事業効果】 コミュニティ活動の展開により、地域内の住民相互の交流を深めることができる。「とんど焼き」など、日本の伝統行事を実施することで、若い世代に引き継ぐことができるとともに、今年は二年に一回の区民運動会を通して、世代間交流とふれあいの場ともなる。また、高齢化率が市内ワースト1位の地区であることから、グラウンドゴルフ大会、うきうきのびのび健康体操を通じ、区民の健康づくりや介護予防の一助となり得る。</p> <p>【今後の展開】 文化・体育及びレクリエーション活動のますますの充実と明るい地域づくりをおこなう。</p>	<p>花のあるまちづくり事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、花苗代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。</p>
<p>【団体名】 西脇区まちづくり委員会</p> <p>【事業名】 西脇区まちづくり計画実践活動事業</p> <p>【実施期間】 R7.4.1～R8.3.31</p> <p>【事業費】 2,220,020円</p> <p>【交付要望額】 1,357,080円</p>	<p>自分たちの住む地区を少しでも良くしていくために策定した西脇区まちづくり計画の実現に向け、小さなことでもできることから実践をしていく。そして、活動を通じて、希薄化するコミュニティの再生と安全で安心して住めるまちづくりを目指す。</p>	<p>①全体会 ・童子山公園、コミセンひろば整備など</p> <p>②地区整備部会 ・古建物の由来看板の補修(観音堂案内看板) ・カレンダーの作成 ・イルミネーション設置 ・地域視察研修</p> <p>③生活環境部会 ・あいさつ運動 ・しばざくら花壇の維持管理 ・クラシックコンサートの実施 ・映画鑑賞会の実施 ・童子山わらべ滝周辺整備、花植え ・童子山スケッチ ・犬のフン、たばこのポイ捨て対策 ・昭和写真展示</p> <p>④川下神社夏祭り</p>	<p>【事業効果】 事業全体を通じて、小さなことでもできることから実施していくことで、「自分たちのまちは自分たちの手でよくしていく」という自立の精神と協働の中でのコミュニティの重要性を育むことができる。</p> <p>【今後の展開】 まちづくり計画の実現に向け、できることから少しずつ進めていくことで、区民一人ひとりがまちづくりに対しての達成感や充実感などを共有できることを目標として活動を進める。</p>	<p>童子山公園整備に関しては、市の財産である童子山を区民の手で美しくすることにより、区民をはじめ市民に身近に感じてもらい、自然に触れられる場・憩いの場・安らぎの場になることを目指している。市のシンボルとも言える童子山整備に関する経費については2分の1を超えての補助金で賄えるよう要望する。 また、コミセンひろば整備事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、花苗代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。</p>
<p>【団体名】 よいとちがうか日野の里推進委員会</p> <p>【事業名】 よいとちがうか日野の里推進委員会事業</p> <p>【実施期間】 R7.4.1～R8.3.31</p> <p>【事業費】 944,000円</p> <p>【交付要望額】 265,000円</p>	<p>日野地区区長会をはじめ、日野地区内の多様な団体、グループ等が連携・協力し、日野地区住民の誰もが安心・安全で暮らしやすいまちづくりを推進するため、必要な事業を実施する。</p>	<p>①日野っ子農業体験交流 日野小学校の児童を対象に、農業体験事業を実施</p> <p>②納涼祭(7月) 地区住民の交流等を目的に開催</p> <p>③日野の里ふれあいフェスティバル(11月) コミセン日野地区会館で活動する団体・グループを中心に、書、絵画等の作品展や舞台発表、人権講演会等を開催</p> <p>④桜保全事業 日野地区のシンボルである「日野の郷地蔵一本桜」周辺の草刈作業及び「地蔵一本桜まつり」の開催</p> <p>⑤まちの美化清掃活動 ゴミ拾い等の清掃活動を行い、まちを美しく保つ取組 駅伝予選会コースの草刈り作業</p> <p>⑥元旦遥拝登山(1月) 日野坂本線の峠にて初日の出を拝する その他、日野っ子みまもり隊等の実施</p>	<p>【事業効果】 地区内の各種団体が連携・協力して活動することにより、地域コミュニティの活性化を図るとともに、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が広がることにより地域自治の推進が期待できる。</p> <p>【今後の展開】 地域のまちづくり活動において、コミュニティビジネス的な手法を用いることにより、持続可能な活動を展開する。</p>	<p>農業体験事業については、児童への食育として、必要な事業であり、各種苗代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。</p>

令和7年度 西脇市地区まちづくり実践補助事業 企画概要一覧表

団体・事業名・事業期間・事業費	事業目的	活動内容	事業効果・今後の展開	特記事項
<p>【団体名】 重春まちづくり協議会</p> <p>【事業名】 重春まちづくり事業</p> <p>【実施期間】 R7.4.1～R8.3.31</p> <p>【事業費】 372,100円</p> <p>【交付要望額】 342,300円</p>	<p>重春地区住民の方に地域の良さを知っていただくために、眺望の素晴らしい矢筈山を整備して、安全で美しい登山道を維持すること。</p> <p>市の玄関口である重春地区の景観として、今年度もコスモスを咲かせ、地区の憩いの場づくりを進めること。</p> <p>地区の良さや特徴を検討して、魅力を発信・周知すること。</p>	<p>①景観づくり 地区内のコスモス畑の整備</p> <p>②矢筈山の整備 登山道の整備や駐車場の雑草対策、案内板の設置</p>	<p>【事業の効果】 自然豊かで歴史的な事柄を体感し、その体験を共有することで、他地区の方々にも、重春地区の事柄を知っていただける。</p> <p>【今後の展開】 今後の重春地区における「まちづくりとは何か」を考え、それを具現化する体制づくりと、それに移行するためには今年度の事業を通して「どうするか」を検討していく。</p> <p>また、近い将来に行われる「重春地区計画の見直し」を見据えた基本的な資料づくりと事業を進める。</p> <p>日本農業遺産認定された酒米の王者、兵庫の山田錦の主産地であること、平野町が青森県弘前市の三浦酒造(豊盃)と村米契約で長年(22年以上)にわたる山田錦を栽培していること、6月には蔵人による田植えイベントを開催していることをPRする。</p>	<p>地域の歴史的資産である矢筈山の登山道の整備等に必要な資材の原材料費及び重春の豊かな自然を体感するための事業(景観づくり)の原材料費については、補助率2分の1を超えた補助を要望する。</p>
<p>【団体名】 野村地区まちづくり推進協議会</p> <p>【事業名】 令和7年度野村地区まちづくり事業</p> <p>【実施期間】 R7.4.1～R8.3.31</p> <p>【事業費】 4,358,000円</p> <p>【交付要望額】 1,443,000円</p>	<p>『こんな野村町に住みたい』『こんな野村町で子どもを育てたい』『こんな野村町で老後を過ごしたい』『こんな野村町・・・』をイメージして、まちづくりをやっていきます。短期的には、こんな事業をやっていきます。</p> <p>町民運動会、しばざくら夏祭り、秋祭り、文化祭、敬老会、いきいきサロン、ミラフェスへの出店、西脇市駅のイルミネーション・花植え・美化管理、野村町公民館の花壇の花植え、野村公園の花植え、平野交差点の花植え、サークル活動など。</p>	<p>①まちづくり推進 まちづくり活動に関する消耗品費、通信運搬費、報償費、保険代等 「野村地区自治協議会」設立に向けた検討</p> <p>②球技大会 住民の交流を目的とした大会を開催</p> <p>③文化祭 みらいえでの文化祭の開催</p> <p>④秋まつり 秋まつりでの住民の交流の推進</p> <p>⑤サークル活動 詩吟、パソコン勉強会、気功、木工クラブ、毛筆サークル、野々華の会、茶道教室、カラオケなど</p> <p>⑥長寿いきいき 野村地区のご高齢者に対する敬老会(いきいきサロン)漫才・落語鑑賞</p> <p>⑦広報費 年4回(約1万部発行)する広報紙</p> <p>⑧花いっぱい 西脇市駅や野村公園、平野口に植栽</p> <p>⑨イベント事業 西脇市駅前イルミネーション装飾、野村公園さくらライトアップ</p>	<p>【事業効果】 各種事業の実施により、住民同士の連帯感と協働意識の高揚が図られるとともに、各種団体との協働やボランティア活動によって世代間を超えた交流が図られ、親睦と調和が生まれる。また、コミュニケーションが良好になることで地域住民がつながり、野村地区の今後の展望を考える際に、様々な意見を反映し、話し合いがしやすくなる。また、『こんな野村町に住みたい』のイメージができる。</p> <p>【今後の展開】 野村地区まちづくり推進協議会の委員が、中心的・リーダー的な役割を果たし、活動推進組織としていく。任期が終了した後も、事業を継承するため前委員と連携し、協働する。</p> <p>事業を行う者が、楽しく喜んで参加活動できるように自由に話し合える会議(場)をつくる。既存の女性の会、民生委員、公民館役員、子ども会などと連携・展開し、野村住民のまちづくりへの参画を促進していく。</p>	<p>花いっぱい事業の原材料費及び地域自治協議会設立に向けたワークショップにかかる報償費については、2分の1を超えての補助を要望する。</p> <p>野村公園のさくらのライトアップを本年度考えています。さくらの下で、町民が花見をしたり、集まって世間話をしたり、それによって人と人とのつながりをつくります。</p>